

宮前区地域教育会議の活動紹介

子ども会議

2年以上コロナ禍で開催できていない子ども部会主催の子ども会議ですが、2023年2月4日(土)に開催予定でした。しかし、今年度も残念ながらリアル開催を断念することとなりました。

開催日前での中止でしたのでそのまま終わりにするのではなく、今年度は子ども会議のテーマ「みんなで話そう！学校あるある」を各学校に持ち帰っていただき、学校ごとに子ども達に話し合ってもらい、それをまとめてぜひ皆様にお伝えできたらと考えおすすめです。

子ども達がリアルで会って話せる場をこれからも模索して参ります。



教育を語るつどい

研究部会主催の教育を語るつどい「川崎市の防災教育について」が2023年3月5日に開催予定です(編集2月現在)。

それに先立ち、研究部会員の勉強会が2022年10月12日に開催されました。身近で実践的な防災対策を川崎市の経験をまじえて、川崎市危機管理本部危機管理部部長の大村氏に講義いただきました。大村氏は3月5日の教育を語るつどいにおいても講師としてお招きしています。



川崎市危機管理本部
危機管理部部長
大村様

地域教育会議とは？

地域教育会議のめざすもの

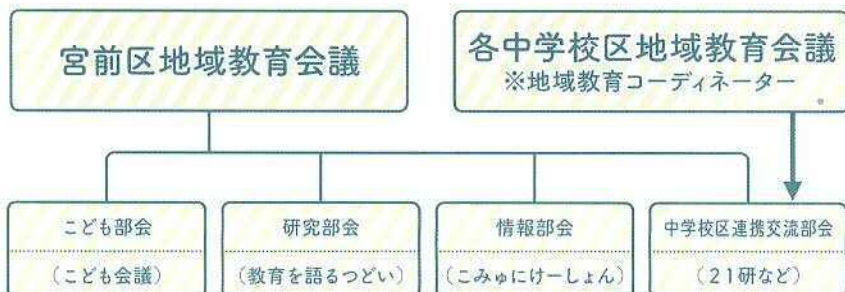
「子どもがいきいき育つまち、おとなも楽しく学べるまち」

行政区地域教育会議

行政区における子どもの豊かな成長の支援や生涯学習の推進を行う組織として、行政と地域の連携を進めながら、広く地域における教育活動を行っています。また、中学校区地域教育会議の支援と補完を行っています。

委員構成

次のような子どもに関わる機関・団体と住民委員が緩やかなネットワークを活かして活動します。



つぶやき

情報部会員 舟田(宮前図書館長)

今から約20年前、とある市民館振興係勤務の際に、地域教育会議を担当しました。まだ、事務局体制がしっかりとしていない中で、私自身が企画立案や会計・広報活動なども行っていたことを思い出しました。

市民の主体的な活動に対し、担当者を通して市民館と相互の情報を共有し、より素晴らしい活動ができるよう見守りながら、住み慣れた地域の中で多世代が交流し、地域の教育環境を社会教育の視点で考えていくことが望ましいと考えています。

宮前区地域教育会議の先進的活動については、当時から存じ上げていましたが、今回、情報部会員として関わることができ、市民の主体的な活動を目の当たりにし、また一緒に活動へ参加することができたことは、とてもうれしく、本当に素晴らしい活動をなさっていると感じました。

編集後記

今年度は、3年ぶりに町内会・自治会への回覧も再開され、地域住民の方々などにも広く地域教育会議の活動をお知らせする情報紙「こみゅにけーしょん」62号を、コロナの影響が色濃く残り各種企画が縮小する中で、何とか年度内に発行することができました！！

取材にご協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

宮前区地域教育会議 情報部会
當間・福田・佐藤・舟田・倉賀野・花田・石堂(担当役員)